



まち・ひと・しごと・こころ京都創生 提案募集

～人口減少社会の克服へ 主体的な取組提案をご応募ください～

京都市では、人口減少社会の克服と、東京一極集中の是正に挑戦するため、平成27年3月に「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略（中間案）をとりまとめ、発表しました。

急激な人口減少は、究極的には市民生活や都市の存続を危うくする、大変深刻な問題です。通常の行政課題として、主に行政の財政や施策によって対処し得る問題とは次元の異なる問題といえ、行政の主導や、従来の取組の延長では、地方創生は実現しません。

そこで、「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」の実現に向けた、市民・関係団体等の皆様との新しい協働の手法として、「主体的な取組提案募集」、「京都創生・お宝バンク」、「チーム京都」等の仕組みをつくりました。

この度、行政等と連携して、自ら意欲的に取り組もうという内容のご提案を募集しますので、皆様からのご応募をお待ちしております。

【応募対象】 市民（個人）、グループ、地域団体、NPO、企業、大学 等

※京都市在住等は問いません。

【応募要件】

次の要件を全て満たす提案とします。

- ◇人口減少社会の克服、東京一極集中の是正に向けた「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」に資する提案と認められること
- ◇応募者（団体）が主体的に取り組む、又は取組に関与する意向があり、取組内容が行政に対する単なる提案や提言、要望ではないこと
- ◇取組内容に実現可能性、効果等が見込めること
- ◇政治的活動ではないこと、公序良俗に反しないこと、法令に違反しないこと

【募集する提案の類型】 ～次の4種類の提案を募集します～

①主体的取組型	「“まち・ひと・しごと・こころの創生”のために、こういう取組の実施を提案する。自分たちでここまでできるが、こういうところが不足しているので、行政や民間、専門家等の知恵や力を借りて実現したい」など
②力の提供・支援型	「自分たちには、こんな力、ノウハウ、人員、場所等がある。“まち・ひと・しごと・こころの創生”のために提供するので、活用してもらいたい」、「私たちは、こういうお手伝いや支援ができる」など
③提案・参加希望型	「こういう取組を、行政と民間団体等が協働して実施してはどうか。実施することになれば自分も何らかの形で参加・協力したい」など
④取組情報提供型	「自分たちは、“まち・ひと・しごと・こころの創生”に資するこんな取組をしており、ぜひ参考にしてもらいたい」など

【ご提案いただく取組テーマ】

テーマⅠ ～創生総合戦略（中間案）の基本目標1～

人々や地域のやさしさあふれる子育てしやすい環境を高め、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (例) ・ 出会いの機会を増やすための方策
・ 安心して子どもを産み、育てられる環境を向上させるための方策
・ 地域で子育てを支えるための方策
・ お年寄りに、いつまでも元気で長生きして子育て世代と交流し、子育てを支えていただくための方策

テーマⅡ ～創生総合戦略（中間案）の基本目標2～

国内外から訪れ、学び、住み、交流する新たな人の流れをつくる

- (例) ・ 京都への移住・定住を促進するための方策
・ 京都で学び、京都に愛着を持つ学生を増やすための方策
・ 国内外から訪れ、また何度も訪れたいと思う人を増やすための方策
・ 国内外の交流を推進するための方策

テーマⅢ ～創生総合戦略（中間案）の基本目標3～

京都の強みを活かして、経済を活性化し、安定した雇用を創出する

- (例) ・ 京都に学ぶ学生と京都の優れた中小企業をつなぐための方策
・ 多様な働き方や、働きやすい環境を整えるための方策
・ 創業を支援するための方策
・ 企業誘致を推進するための方策

テーマⅣ ～創生総合戦略（中間案）の基本目標4～

「日本のこころのふるさと」の魅力に磨きをかけ、心豊かな生き方、暮らし方を大切にする社会を築く

- (例) ・ 日本の伝統、文化を守り、育て、発信する中心的役割を、京都が担うための方策
・ 京都の伝統文化、伝統産業の魅力の発信力を高め、新たな関心、需要を掘り起こし、日本のこころの創生を図るための方策
・ 日本のこころにふれ、心豊かな生き方・暮らし方・働き方を学ぶ機会をつくるための方策
・ 住む人・訪れる人の心を豊かにするまちづくりを進めるための方策

テーマⅤ ～創生総合戦略（中間案）の基本目標5～

地域の特性を踏まえ、魅力と個性を活かし、豊かな地域コミュニティが息づくまちづくりを進める

- (例) ・ 地域の魅力向上が、市域全体の魅力向上につながる、調和のとれたまちづくりを進めるための方策
・ 地域の人のつながりを豊かにするための方策

～応募いただいた提案・取組について～

◇提案に対しては、京都市が次の支援を行います。

①知恵や力を集める場づくり（右ページ ステップ2）

提案を実現するために、他の市民や企業、大学等の様々な知恵や力を広く集める場をつくる。

②提案の実現に向けたコーディネート（右ページ ステップ3）

外部の専門的な知識を有する有識者と、様々な政策分野の本市職員が、コーディネーターとなり、その専門的な知見や情報を駆使して、提案を実現に結びつけるための支援を行う。

③「チーム京都」と位置付け、取組の積極的広報・発信等（右ページ ステップ4）

提案の具体化に挑戦する団体について、積極的に広報し、取組が広く知られるようにする。

◇応募いただいた提案は、総合戦略（最終版）への反映を検討します。

⇒詳しくは右ページの流れをご参照下さい。

【提案募集から取組実施までの流れ】

ステップ1 個人、市民グループ、地域団体、NPO、企業、大学等から取組提案を募集

募集する提案は、人口減少社会の克服、東京一極集中の是正に資する取組です。
〈取組例〉・「こういう取組の実施を提案する。自分たちでここまでできるが、こういうところが不足しているので、行政や民間、専門家等の知恵や力を借りたい」
・「自分たちの力、ノウハウ、人員、場所等を提供する」
・「こういう取組を実施してはどうか。実施の際は参加・協力したい」
・「自分たちはこんな取組をしており、参考にしてもらいたい」

ステップ2 応募いただいた提案は「京都創生・お宝バンク」に登録・公開し、広く情報共有し、実現を後押しする知恵や力を集めます。

京都創生・お宝バンクは、ホームページで常時公開し、閲覧者から、「登録した提案の実現につながる情報の提供」、「協働・支援の申し出」、「企業で採り入れて事業化したい等の申し出」などを募ります。

ステップ3 「京都創生・お宝バンク」に登録された提案について、外部の有識者と本市職員からなるコーディネーターが、実現のために知恵を絞り、行政や他の団体等とのマッチングを試み、提案の更なる力を引き出し、高めるためのコーディネートを行います。

コーディネーターは、提案と既存の活動支援施策等（市・府・国等）をつなぐ、主体的取組団体と本市関連部署との連携を促す、応募団体同士のマッチングを図るなどのコーディネートを行います。
(ステップ2の募集やステップ3のコーディネートが成立せず、具体化されない場合もあります。)

ステップ4 コーディネートを経て、取組の具体化（企画・構想・実施）に挑戦する主体的団体について、「まち・ひと・しごと・こころ創生・チーム京都」として、取組を進めていただきます。

「チーム京都」について、京都市は、取り組みの具体化の状況を積極的に広報・発信するとともに、コーディネーターが提案の具体化・推進をサポートします。

ステップ5 応募いただいた提案や、提案の取組状況等を踏まえ、「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略（最終版）に反映します。

【応募方法】

- ◇ 裏面の応募用紙に必要事項を記載のうえ、郵送、FAX、Eメールのいずれかで申し込んで下さい。
- ◇ 応募用紙の電子データ等は、京都市地方創生ホームページ『住むなら都 情報サイト』(<http://cocoronosousei.com/>)に掲載されていますので、ご活用ください。
- ◇ また、「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略（中間案）をはじめ、これまでの取組について紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

申込先 京都市まち・ひと・しごと・こころ創生本部事務局

(京都市 総合企画局 市長公室 創生戦略担当)

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話：075-222-3978 FAX：075-213-1066

Eメール：sosei-senryaku@city.kyoto.jp

【募集期間】 平成27年4月22日（水）～平成27年7月31日（金）

※郵送の場合は当日消印有効

